

2022 年度事業計画

1. 総務関連の事業

- (1) 代議員総会を 6 月 5 日（日）に開催する。
 - i) 2021 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認
 - ii) 会長、副会長、理事及び監事の選定
 - iii) その他
- (2) 2022 年度大会をハイブリッド形式で 9 月 2 日(金)アクリエひめじ、3 日(土)兵庫県立大学にて開催する。
 - i) 研究発表
 - ii) 事業報告会及び学会賞授与式
 - iii) 公開シンポジウム
 - iv) 懇親会
 - v) その他
- (3) 研究の奨励及び研究業績等の表彰
 - i) 学会賞、奨励賞、功労賞の授与
 - ii) 若手研究者発表奨励賞の授与
- (4) 会議の開催
理事会、編集委員会、情報管理委員会、学会賞選考委員会、規程委員会、刊行委員会
- (5) 講演会を 6 月 5 日(日)に開催する。

2. 企画・広報関連の事業

- (1) 年次大会を中心とする企画・広報活動を行う。
- (2) 講演会の企画・広報活動を行う。
- (3) 創立 50 周年記念出版の広報活動を継続して行う。

3. 編集委員会関連の事業

- (1) 編集委員会を開催し、日本調理科学会誌第 55 巻第 2 号から 6 号及び第 56 巻第 1 号の編集及び発行を行う。発行部数は A4 判 各 1,600 部とする。
- (2) 「日本調理科学会誌」は刊行後 1 か月以内に WEB 上(J-STAGE)で公開する。

4. 情報管理委員会関連の事業

- (1) 情報管理委員会を開催し、ホームページ等の管理、運用を行う。
- (2) 2022 年度大会演題登録はアトラス社の Confit Submission を利用して行う。
研究発表要旨を J-STAGE にて公開する。
- (3) メール・ニュースを発行する。
- (4) 転載申請に対し許諾の判断を行う。場合により学術著作権協会への申請を依頼する。

5. 規程委員会

諸規程を整備する。

6. 刊行委員会

- (1) 引き続き創立 40 周年記念事業「クックリーサイエンス」シリーズの刊行を行う。
- (2) 「料理のなんでも小事典」が今後も重刷されるよう努める。

7. 研究委員会関連の事業

- (1) 「災害時のメニュー開発に関する研究委員会」は研究活動を行う。
- (2) 「次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理研究委員会」は研究活動を行う。
- (3) 「多様な調理法と家庭料理の伝承研究委員会」は研究活動を行う。

8. 渉外関連の事業

- (1) 日本学術会議協力学術団体として生活科学系コンソーシアムの活動を行う。
- (2) 次の学協会等との事業の共催、協賛及び学会誌の交換及び情報の交換等を行う。
(公財)飯島藤十郎記念食品科学振興財団、(一社)日本家政学会、(公社)日本栄養食糧学会、(公社)日本食品科学工学会、(公社)日本水産学会、NPO 法人日本栄養改善学会、(一社)日本応用糖質学会、日本家庭科教育学会、日本食生活学会、(一社)日本官能評価学会、日本熱物性学会、日本高圧力学学会、(一社)和食文化国民会議、(公財)塩事業センター、(公財)不二たん白質研究振興財団、(一社)日本レオロジー学会、NPO 法人うま味インフォメーションセンター、日本食品・機械研究会、日本熱測定学会、(公社)日本冷凍空調学会、(公財)ソルト・サイエンス研究財団、その他の学協会

9. 支部活動に関する事業

各 6 支部は、支部総会、役員会、講演会、研究会等の事業を行う。